

多古町版の総合戦略が策定されました

「まち・ひと・しごと創生」

日本全国のほとんどの自治体が直面している「人口急減」と「超高齢化」。人口の減少は、地域経済において消費の縮小だけではなく、深刻な人手不足を生み出すなど地域社会に様々な影響を与える大きな要因と言えます。特に地方においては「人口減少が地域経済の縮小を呼び、地域経済の縮小が人口減少を加速させる」という悪循環の連鎖に陥りやすいとも言われています。そこで、多古町では将来の人口ビジョンを踏まえ、地域が抱える課題に対して、人口減少を食い止め町を活性化するための4つの基本目標を設定し住民の皆さんと一体的に取り組み総合戦略を策定しました。今月号では、その概要をお知らせします。

人口推計と基本目標

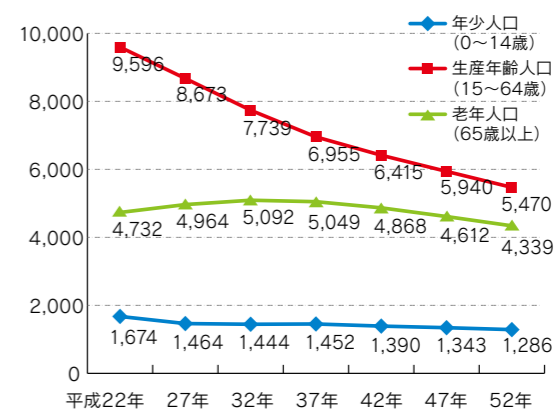
多古町の人口は、平成7年の18,201人をピークに減少を続け、平成22年には16,002人（国勢調査）となり、今後も減少は避けられないと見えています。25年後の平成52年までは、年少人口と老年人口は、ほぼ横ばい状態が続きますが、生産年齢人口の減少が大きく、人口全体では平成22年の約63%（約5,900人の減）まで落ち込むと国立社会保障・人口問題研究所による推計結果となりました。この結果を受けて、町は人口の減少幅を極力和らげるため、多古町民アン

ケートの結果を基に10〜40歳代の「理想の子どもの数」等、町民の理想が実現した場合と仮定した人口値を多古町における目指すべき人口と設定し（グラフ参照）、この人口規模を維持し、人々が安心して仕事や子育てができる、また、高齢者が元気に暮らせるための4つの基本目標を設定しました。この目標を達成するため、地域特性に着目した「ひと」の育成と「しごと」の創出に注力し、皆さんと共に「まち」を活性化していきます。

総合計画と総合戦略

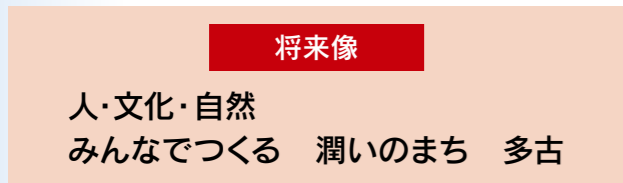
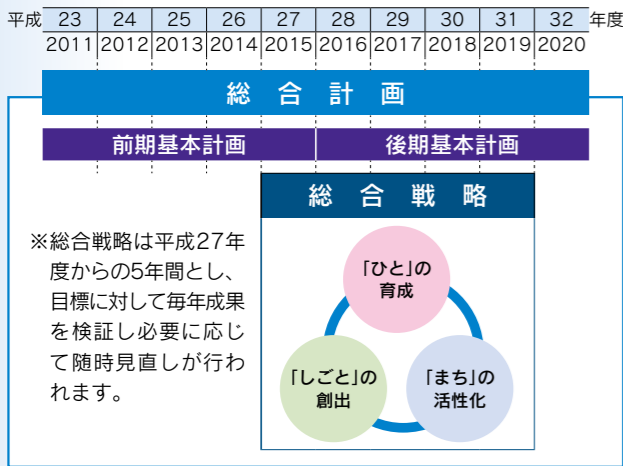
町民アンケートや子育て世代・多古高

多古町人口推計（目標値）



校生などとの懇談会、企業ヒアリング、住民や各分野の有識者をメンバーとした「多古町総合戦略推進会議」を踏まえて策定された総合戦略は、平成23年を初年度として、以降10年間における行政運営の指針である「多古町総合計画」に内包され、町が目指す将来像「人・文化・自然 みんなでつくる 潤いのまち 多古」の実現に向かって、施策の成果を検証し、改善をしながら町民と一体となって進められます。

総合計画と総合戦略の関係



基本目標と主な具体的取組

基本目標	主な具体的施策と取組内容
1. 多古町に合った新たな雇用の場を創出する	①基幹産業としての農業の強化 新規就農者および農業後継者の確保と育成、販路拡大、地産地消の推進、産地化の促進、6次産業化の推進、農業基盤整備の推進、農地の集約化および耕作放棄地の解消、農業形態の大規模化・法人化・組織化の促進 ②地元企業への支援強化 中小企業支援の充実、中小企業の後継者確保の支援、既存企業の採用活動支援、Uターン希望者等の地元就職支援 ③成田空港に近い立地を生かせる業種や業態の誘致 企業誘致の促進、未利用町有地の活用、成田空港に連携する道路の整備促進、起業・創業支援
2. 若い世代が多古町で結婚・子育てしやすい環境をつくる	①通学・通勤圏の拡大 町民の通学と通勤の利便性向上、地域公共交通網の維持 ②若い世代の転入を促す住宅支援 住宅取得支援、優良住宅地の形成促進 ③子育てサービスの充実と育てやすさのPRの強化 こども園・学童保育・保育サービスの充実および利用促進、図書館・教育環境の充実、保健・医療の充実、男女共同参画社会づくりの推進 ④結婚を後押しする出会いの場創出 結婚支援体制の整備、婚活支援事業の推進
3. 多古町の魅力を高め定住・移住・Uターンを促進する	①食・観光のPR強化 祭りやイベントの充実、道の駅多古の魅力向上、都市住民との交流促進、農産物の魅力発信、6次産業化の推進、観光プロモーション、各種媒体を活用した情報発信強化、成田空港周辺9市町観光情報の発信強化、ふるさと納税の促進 ②ふるさと意識の醸成 奨学資金貸付制度の拡充、社会科副読本の活用促進、キャリア教育の拡充、Uターン者向け移住支援施策の充実、町外に向けた郷土情報の発信 ③成田空港への近さ・住みやすさPR 各種媒体を活用した情報発信強化、Uターン・Uターン者向け移住支援施策の充実 ④特色ある教育の推進 奨学貸付資金制度の拡充、ICTを活用した教育の充実、国際交流および英語教育の推進、キャリア教育の拡充、学校施設の機能向上、多古高校との連携・コミュニティスクールの支援、小・中・高の連携教育の推進と交流学習の充実
4. 高齢者が元気に暮らせる仕組みを整える	①高齢者が活動できる場の提供 高齢者の社会参加の促進、生涯学習活動の支援、地域の人材活用推進 ②地域の支え合い活動の促進 協働・住民参加の促進、NPOおよびボランティア団体の育成 ③子どもの時からの健康づくり 健康づくり・スポーツ環境の整備、健康づくりやスポーツに関するイベント・教室の開催、多古中央病院との連携強化、地産地消の推進、食育の推進



総合戦略推進会議、多古高校生や子育て世代などとの懇談会では、町を活性化するにはどうしたら良いか多くの貴重な意見が出された。